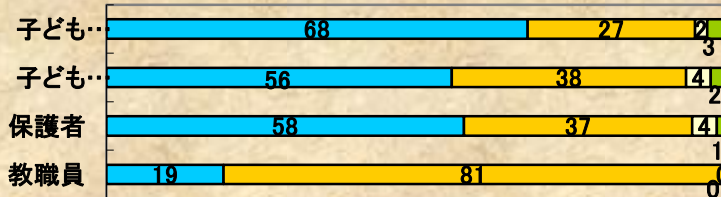


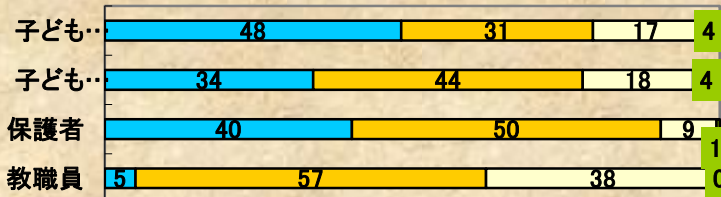
第1回目のアンケートにご回答いただき、ありがとうございます。集計結果を報告いたします。

凡例（左から） A 思う B 大体思う C あまりそう思わない D 思わない 無答・その他

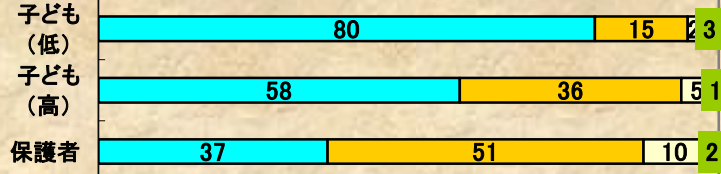
(1) 学校へ行くことはたのしい (%)



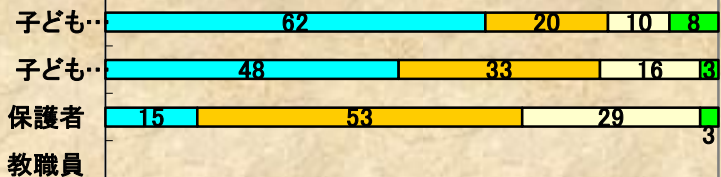
(2) 自分の考えを自分で発表する (%)



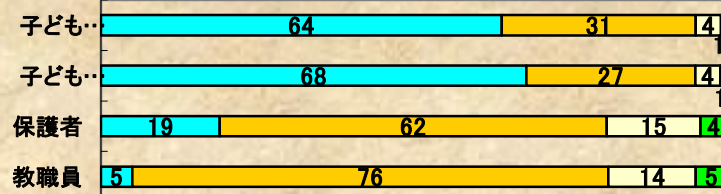
(3) 学習で難しいときも最後までがんばる (%)



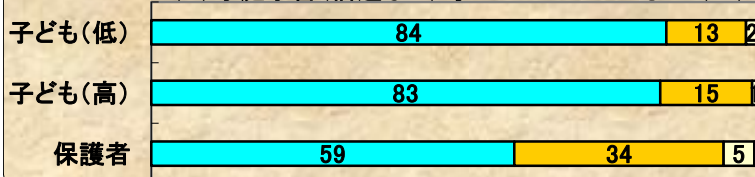
(4) 学習でわからないとき先生に聞く (%)



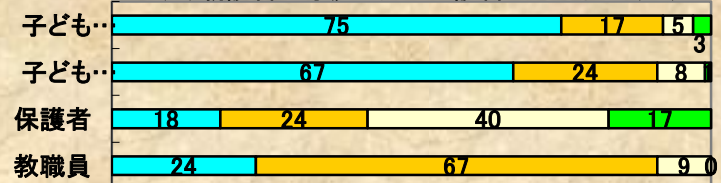
(5) 教科書や持ち物は毎日持ってきている (%)



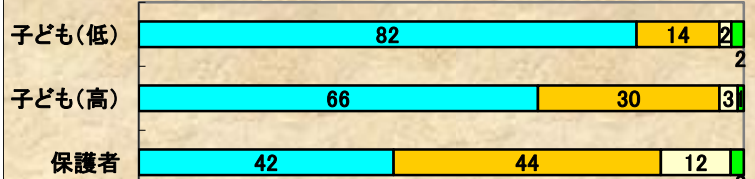
(6) 家庭学習(宿題など)毎日がんばっている (%)



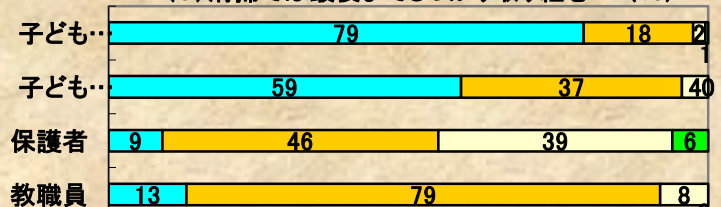
(7) 朝読書や家庭で進んで読書している (%)



(8) ジョイフルタイムでは進んで歌っている (%)



(9) 清掃では最後までしっかり取り組む (%)



(1) 「学校へ行くことはたのしい」

95%の子どもが、学校は概ね楽しいという結果でしたが、子どもたちの中には、楽しいと思わない子どもがわずかでもいるということに注意する必要があります。その原因を探るため、楽しくないと答えた子どもについては改善に向けて担任が聞き取りを行っています。学校では、子どもの思いに気づき、全員が楽しい学校生活を送ることを目指し、今後も改善の取組を進めていきます。

保護者の方もわが子について不安があればぜひ遠慮なくご相談ください。

(2) 「授業で自分の考えをすすんで発表する」

20%を超える子どもが、自分の考えをあまり言えていないという結果を重く受け止め、教員はこれまで以上に子どもたちが活発に発言することのできる環境、授業づくりを進めています。

今年度は、研究教科である音楽科と算数科について、学校全体で取組を進めてまいります。

(3) 「学習でむずかしいときも最後までがんばる」

昨年度と同様に、90%以上の子どもが何事にもまじめに取り組もうとする山ノ内小学校の子どもたちの良さが回答に表れていました。高学年が5%も上昇していたのは、学校として大変うれしい結果です。今後も子どもたちのがんばっているところをしっかりと見つけ、大いに褒めていきたいと思います。

(4) 「学習でわからないとき、先生に聞く」

保護者の目線で、できていない・あまりできていないという回答が、昨年度と比べて20%も減少したので、教職員と子どもたちの関係がよりよい方向に向かっているのではないかと考えます。今後も学習に対して子どもが主体的にすすんで取り組む態度を育てるよう努力していきます。

(5) 「教科書や持ち物は、毎日もってきている」

低学年・高学年共に昨年度よりも良い結果となりました。学年が進行しても、改善しにくいところではありますが、徐々に改善しつつあると考えています。子どもの力だけでなく、学校・家庭が共に力を合わせて取り組んでいきたいです。

(6) 「家庭学習(宿題など)毎日がんばっている」

昨年度よりも10%多く、がんばっていると答える子どもが増えました。与えられた課題に対して、子どもたちは本当によく努力をしていると考えています。その努力が成果となって表れるように、今後も家庭学習の充実に向けて保護者の皆様と学校が連携して取組を進めていきたいと思います。

(7) 「朝読書や家庭で進んで読書している」

本年度の調査でも、学校での朝読書については、概ねしっかり取り組めているようですが、保護者の数値を見ると、家庭での読書につながっていないところがやはり課題となっています。読書好きの子どもを育てるため、読書週間や読み聞かせなどの取組を見直し、より良いものにしていきたいと考えています。

(8) 「ジョイフルタイムでは、進んで歌っている」

これまでと同様、本年度も毎日清掃活動のあと、5分間各クラスで歌を歌っています。短い時間であっても山ノ内小学校の大切な取組として、これからもより一層の充実を目指していきます。

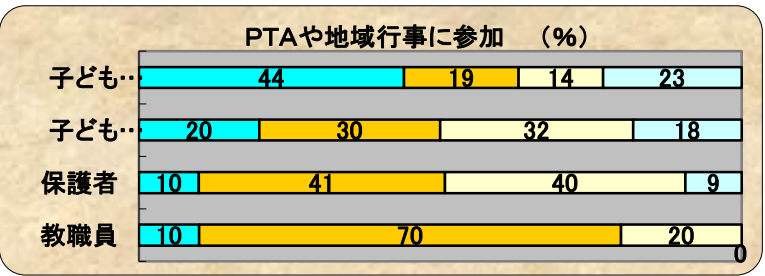
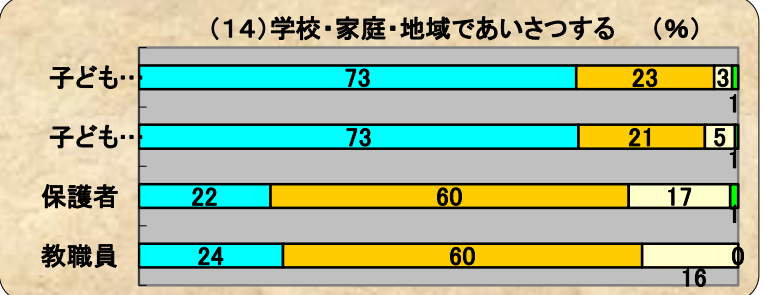
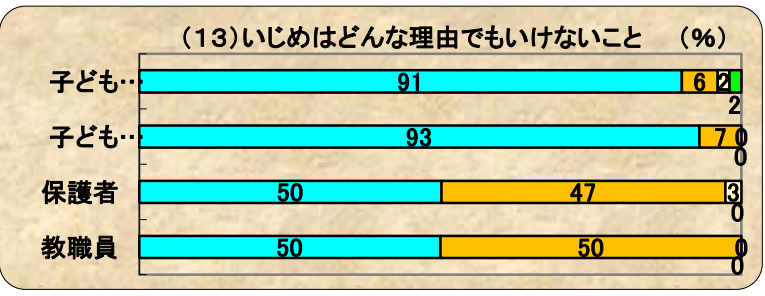
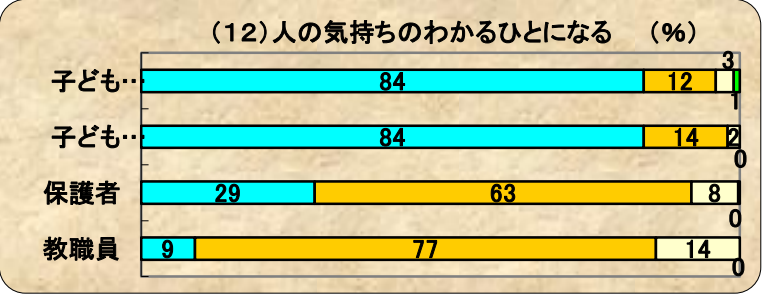
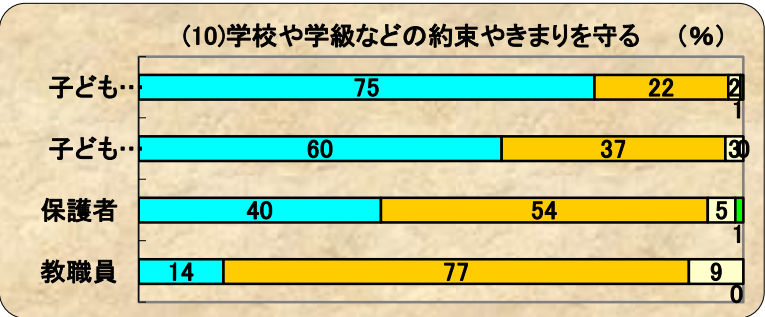
山ノ内小学校と言えば「歌声がきれい」と子どもたちが、誇れる学校にしていきたいです。

(9) 「掃除では最後までしっかり取り組む」

「思う」と回答した割合は、高学年・低学年共に昨年度よりも高くはなりましたが、高学年の数値は、まだまだ低いと考えます。

また、昨年度に引き続き、家庭での掃除に対する意識の低さも課題となっております。

掃除に対して子どもたちが自ら主体的に取り組むために、掃除をすることの大切さと、日々の掃除を振り返ることを今後徹底して指導していきたいと考えております。



(10)「学校や学級などの約束やきまりを守る」
昨年度よりもさらに規律・規範意識の高まりを感じる結果となりました。しかし、教職員の視点からは、「あまりそうは思わない」という数値が9%もありました。教職員の中でも、規律・規範意識が高まった結果、厳しく子どもたちの学校生活を見ている表れではないかと考えています。教職員が高い規範意識をもつのは当たり前ですが、子どもたち自身も、自分たちの学校生活をよくするためのものとして規則やきまりをとらえ、さらによりよい学校を作っていってほしいです。

(11)「友達と仲良く協力する」
子ども・保護者・教職員の95%以上が「そう思う」「大体そう思う」と答えた結果は、学校としては大変喜ばしい結果となりました。これからも子ども同士の関わりを大切にし、学び合い、高め合う取組を進めていきます。そして、些細なことも見逃さないよう、きめ細やかに子どもたちを見ていきたいです。

(12)「人の気持ちのわかる人になる」
高学年の回答では、「そう思う」の割合が昨年度より7%も高くなっています。それに対し、教職員の回答では、「あまりそう思わない」の割合が10%も高くなっています。
これは(10)でもあるように教職員の意識が高まり、厳しく子どもたちの学校生活の様子を見ている表れではないかと考えています。
今後も友だちの気持ちに気づき、考えていける子どもを育てることができるよう、日常の学級経営の中で取組を充実していきたいと思っています。

(13)「いじめはどんな理由があってもいけないこと」
平成26年度に本校は、いじめ防止基本方針を策定し、学校をあげていじめの未然防止を目標の一つにしています。発生時の対応についても教職員一同が研修を実施してきております。
本年度は道徳教育に重点を置き、全学年が年間2回の道徳授業公開をし、いじめをしない・させない子どもたちの育成につなげていきたいと思っています。
(教職員は子どもが身についているかという観点で回答です。)

(14)「学校・家庭・地域であいさつする」
児童会もあいさつ運動に積極的に取り組むようになり、子ども同士があいさつを交わす姿も朝の正門で見られるようになってきています。学校の中では、確実に自分から進んであいさつをする子が年々増えています。
しかし、保護者の回答は昨年度と同様に「あまりそうは思わない」が15%を超える厳しい結果となりました。
今年度は、「学校内ではあいさつできているが、PTAや地域の方々にはできてない」というかたちを改善し、あいさつができる取組を進めていきます。

(15)「PTAや地域行事に参加」
昨年度、学校運営協議会で「PTA・地域行事について具体的な説明を入れればどうか。」とお言葉をいただき、本年度のアンケートには、具体的な説明を入れました。その結果、低学年の「そう思う」が20%上昇しました。保護者の方・高学年とも半数ほどが「そう思う」「大体そう思う」という結果は昨年と同様でした。やはり土曜・日曜日が休みでない方も多いのではないかと考えております。

〈 保護者の皆様から多数の意見ありがとうございました。〉

悩みや困りごとについては、ぜひ担任とご相談ください。保護者の方と一緒に手だてや取組の方向性を探って働きかけていきたいと思っています。

この学校評価については、年2回実施させていただいています。この結果は、教職員が共通の意識をもって学校教育の向上に努めていくためのものです。
内容に応じては、学級で指導上役立てさせていただいておりますので、今後もアンケートの記入について、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。